

桃山学院大学と和泉市の連携事業一覧表（平成28年度）

（平成29年3月末日現在）

No	事業名	和泉市担当	桃山学院大学担当	連携事業の結果	事業効果・成果
1	和泉ボランティア・市民活動センター「アイあいロビー」との連携事業	市長公室 公民協働推進室 公民協働推進担当	学生支援課 ボランティア活動支援室	●アイ・あいロビーと桃山学院大学の学生が協働し、子育て世代の応援企画として「桃山キッズランド」をアイ・あいロビーにて5月、7月、9月、10月、12月、3月の計6回開催し、参加した親子と学生によるプラ板づくりやバルーン教室など様々なイベントを通じて一緒に楽しむことで地域のつながりをつくり、コミュニティの活性化につながる事業を実施した。	普段交流することが少ない大学生と協働することで新たなつながりやコミュニティが生まれ、アイ・あいロビーの周知、活性化につながっている。
2	防犯ボランティア「桃パト」	市長公室 公民協働推進室 危機管理担当	学生支援課	●下記の取り組みを行った。 平成28年4月20日（水） 青パトに乗車しての防犯パトロール活動（久保惣記念美術館駐車場） 平成28年6月1日（木） 「安まちメール」登録推奨キャンペーンに参加（エコールいずみ） ※和泉警察署と合同 平成29年1月30日（月） 防犯ボランティア活動に関する打ち合わせ会議（桃山学院大学） 平成29年2月14日（火） 小学生対象防犯クロスロード教室の開催（緑ヶ丘小学校2年生） 平成29年2月15日（水） 小学生対象防犯クロスロード教室の開催（緑ヶ丘小学校3年生） 平成29年2月24日（金） 大阪府防犯協会連合会第5ブロック連絡会において活動報告（和泉市コミュニティーセンター） この他、桃パト独自の活動として、緑ヶ丘小学校区における通学路の見守り活動（週2～3回）や緑ヶ丘自治会の夏祭り、防災訓練にも参加している。	ボランティア活動が活性化し、地域の安全・安心感の醸成に寄与。
3	法職オリエンテーション	市長公室 人事課	法学部	●桃山学院大学法学部1回生を対象に、学習意欲の向上を図り、和泉市への関心や市政への参加意欲を高めることを目的として、市長自ら大学へ出向き講義を行った。	将来の就職先として和泉市役所を志望し、新規採用職員に申し込みをしてきている。
4	和泉市交換学生派遣事業	総務部 人権・男女参画室 人権国際担当	国際センター	●姉妹都市・米国ブルーミントン市へ交換学生として派遣するため、在学生1名を選考した。 【和泉市、和泉市国際交流協会共催】	国際化に対応できる人材の育成に寄与している。
5	和泉市英語スキットコンテスト	総務部 人権・男女参画室 人権国際担当	外国語教育センター	●和泉市内中学生を対象に国際交流や国際理解、英語への興味を深めるために実施。外国語教育センターのマイケル・イワネ・サロバーラ講師に、他の審査員2名と共に、参加者が演じる課題に基づく英語スキット（寸劇）を審査していただいた。7組21名の参加があった。課題は、教育委員会の外国語指導助手（ALT）が作成した。 【和泉市・和泉市国際交流協会共催】	ネイティブの審査員に英語で講評をしていただき、参加者が生きた英語に触れることができた。
6	通訳ボランティア研修	総務部 人権・男女参画室 人権国際担当	学習支援センター	●和泉市国際交流協会登録の通訳ボランティアのスキルアップを目的としているが、日程調整がつかず未実施となった。	今年度連携なし
7	公共サービスのイノベーション人材育成事業	環境産業部 市民室 出張所担当	経営学部	●平成28年度は下記の事業を実施。 ①窓口待ち時間についての現状の調査 市役所の窓口公共サービスをより良くするための学生の視点での現地調査のうえ分析し、7月1日に桃山学院大学からのプレゼンテーション（学生の視点からの現地調査のまとめ、窓口の所要時間、待ち時間の検証結果報告、他の市役所の事例調査）住民票証明発行窓口シミュレーションを実施した。 ②住民票等郵送請求書の改善 中間時点での取り組み：市のホームページに掲載している住民票等の郵送請求書及び記入例の改善を検討（次年度へ繰り越し） ③婚姻・出生届出記念撮影ブースの設置 桃山学院学生と出張所とのコラボ企画で、婚姻・出生届出記念撮影ブースを製作した。（平成28年11月22日開始） ④窓口ごとの色分けの実施 番号発券機と各届出窓口の色分け及び順路案内図を改善、設置した。また、2月13日の桃山学院大学の経営学部で内活動発表会において、業務改善のプレゼンテーションを実施した。 ⑤今年度の総括と来年度の取り組みについて、平成28年度の学生と引き続き翌年度も業務改善に取り組んだ。	①窓口待ち時間の現状調査により、改善策を検討できた。 ②次年度繰り越し ③利用者には好評であり、和泉市定住促進につながるのではないかと考える。 ④案内板を設置することでフロア全体の順路が分かり、来庁者も迷うことなくスムーズに担当窓口へ誘導することができた。 ⑤学生の市役所の仕事に対する意識の改善につながった。

桃山学院大学と和泉市の連携事業一覧表（平成28年度）

（平成29年3月末日現在）

No	事業名	和泉市担当	桃山学院大学担当	連携事業の結果	事業効果・成果
8	和泉市地域福祉総合相談員配置促進事業 (CSWへのスーパーバイズ)	生きがい健康部 福祉総務課	社会学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成28年度は下記の事業を実施し、専門的なアドバイスを頂いた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・【1回目】平成28年8月1日 テーマ ①ケース分類シートについて、②活動の可視化について、③社会的居場所づくりプロジェクトについて</li> <li>・【2回目】平成28年10月11日 テーマ ①社会的居場所づくりプロジェクトについて、②空き店舗の活用について、③ケース分類シートについて、④活動の可視化について、⑤個人情報の取り扱いについて</li> <li>・【3回目】平成28年12月6日 テーマ ①個人情報保護法の取り扱いについて、②活動の可視化について、③社会的居場所づくりプロジェクトについて、④空き店舗の活用について、⑤ケース分類シートについて</li> <li>・【4回目】平成29年2月24日 テーマ ①ケース分類シートについて、②活動の可視化について、③社会的居場所づくりプロジェクトについて、④空き店舗の活用について、⑤リスクチェックシートについて</li> </ul> </li> </ul>	地域福祉総合相談員の活動の可視化、方向性の確認、新たな取り組みなど専門家からアドバイスをいただきスキルアップにつながった。
9	消費者被害防止事業	生きがい健康部 福祉総務課	全学部 学生支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若者が陥りやすい消費者被害の未然防止をはじめ、消費者市民社会に向け自立した消費者を育成するため消費生活相談員を派遣した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・【第1回目】平成28年7月14日（木）11：00～ 経済学部 テーマ「騙されないで悪質商法（若者向け）」 参加者 経済学部学生 150名</li> <li>・【第2回目】平成28年12月9日（金）11：00～ 社会学部 テーマ「騙されないで悪質商法（若者向け）」 参加者 社会学部学生 150名</li> <li>・【第3回目】平成28年12月9日（金）15：00～ 社会学部 テーマ「騙されないで悪質商法（若者向け）」 参加者 社会学部ゼミ生 15名</li> </ul> </li> </ul>	成年年齢の引き下げが検討されているなか、消費者問題と契約について学生の認識を深める。
10	消費者教育事業	生きがい健康部 福祉総務課	社会学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●桃山学院大学社会学部のゼミ生と連携し、年輪大学講座の「暮らしの中の悪質商法」のなかで寸劇を行い、消費者被害防止と見守りの啓発を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・【第1回目】平成29年2月1日（水）13：00～ テーマ「年輪大学講座（暮らしの中の悪質商法）」 参加者 社会学部 ゼミ生 4名</li> <li>・【第2回目】平成29年2月9日（水）13：00～ テーマ「年輪大学講座（暮らしの中の悪質商法）」 参加者 社会学部 ゼミ生 4名</li> </ul> </li> </ul>	社会学部のゼミ活動の一環として学生の参加体験・発表を通じ、消費者被害防止と消費者教育の担い手としての認識を深める。
11	社会的居場所づくりプロジェクト	生きがい健康部 福祉総務課	社会学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会的に孤立している人（ひきこもり等）の交流の場を、地域福祉総合相談員と社会学部や桃山学院大学生が協働して、社会資源の活用や関係機関との連携の仕組みづくりを行い、社会的に孤立している人の就労や生活状況の改善などにつながるよう働きかけを行った。</li> </ul>	4件の支援を実施した。 社会的に孤立している方にイベント等に参加を促すことで、人とかかわりや社会参加のきっかけをつくることできた。
12	みんなで取り組む地域づくり協議会	生きがい健康部 福祉総務課	社会学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域住民の困りごとについて、地域住民を中心とした団体による課題解決を図るための取り組みを側面的に支援することにより、地域住民による支援体制の構築や拠点づくりを推進するため、みんなで取り組む地域づくり協議会で学識経験者として専門的なアドバイスを頂いた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>【第1回目】平成28年11月1日 (議題) 住み慣れた地域で暮らし続けるための拠点づくり事業に係るアンケート調査について</li> <li>【第2回目】平成29年2月7日 (議題) ①住み慣れた地域で暮らし続けるための拠点づくり事業に係るアンケート調査結果について ②事業提案書（素案）について ③これからのスケジュールについて</li> </ul> </li> </ul>	平成28年11月29日～12月16日の間、平成28年10月1日現在和泉市内在住で18歳以上の方3,000人を対象にアンケート調査を実施し、1,531人から回答があった。（回収率51.0%）アンケート調査結果を基に事業提案書を作成。

桃山学院大学と和泉市の連携事業一覧表（平成28年度）

（平成29年3月末日現在）

No	事業名	和泉市担当	桃山学院大学担当	連携事業の結果	事業効果・成果
13	認知症地域で支え“愛”事業（認知症サポーター養成講座・徘徊模擬訓練・回想法・認知症カフェ・認知症初期集中支援事業等）	生きがい健康部 高齢介護室 高齢支援担当	社会学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成28年度は下記の事業を実施した。</li> <li>①回想法研修 9月9日桃山学院大学にて実施した。 オレンジカフェ（認知症カフェ）ボランティアを中心に12名参加した。 回想法の意義やボランティアの役割などを伝えていただいた。</li> <li>②オレンジカフェボランティア養成研修 7月27日・9月14日実施し、24名が参加した。 企画内容について相談し、講師として認知症の基本とボランティアの意義などを伝えていただいた。</li> <li>③認知症施策全般についての相談</li> </ul>	助言をいただくことで現状や課題をふまえながら施策を組み立てることができた。講話などでは、ボランティアの意欲向上につながった。
14	選挙事務従事者登録事業	選挙管理委員会事務局	学生支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●和泉市議会議員一般選挙（平成28年9月11日執行）の際に、学生支援課を通じて登録している学生に対し、投票事務の募集を行ったが、時期的に夏休み等の期間であったため、応募される学生はいなかった。</li> </ul>	目標に達していないため、成果は得られていない。
15	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業	学校教育部 指導室	教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●5月と10月に桃山学院大学の方でガイダンスを実施し、大学生の希望や学校側の条件など、双方の調整や確認を行った。その後、学生が和泉市内の幼稚園や小中学校において、様々な教育活動の補助にあたった。今年度は14名の学生の参加があり、学生は当該活動が学外研修として単位認定される。</li> </ul>	学生が休み時間等、子どもたちと多く関わってもらうことで、子どもたちに楽しみや安心感を与えることができ、充実した学校生活へとつながったようである。また、学習の準備に時間がかかる子どもに根気よく対応してもらうことで、子どもの学習意欲を高めることもできた。一人ひとりに応じた支援が求められている学校現場において、加配教員の少ない現状からすると、学生サポートの存在は大きな力となっている。
16	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業	学校教育部 指導室	教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「和泉市中学生生徒会サミット」桃山学院大学との連携 担当部署：桃山学院大学 教職課程課 中学生による「スマホが与える影響」をテーマとしたディベート形式の討論会等を実施した。 日時 平成28年8月26日（金） 13:00～16:30 場所 桃山学院大学 ヨハネホール 内容 各中学校の生徒会の生徒によるグループ討議 （教職課程在籍の大学生との意見交流） 「スマホが与える影響」をテーマにディベート形式での討議</li> </ul>	今年度で、6回目を迎え、生徒会役員にとっての活動の場となっている。また、当日は大学生も含め意見交流を行い、考えを深める機会となっている。また、今回は、携帯電話の使い方についてのディベート形式で討論を行い、携帯電話・スマートフォンの利点や課題などの意見を交流させ、自分たちの考えを深めることができた。
17	アメリカンフットボール部地域支援事業	学校教育部 指導室	アメリカンフットボール部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成28年度は下記の事業を実施した。</li> <li>・平成29年2月23日（木） 緑ヶ丘小学校5年生 121名 5・6時間目 場所：緑ヶ丘小学校グラウンド</li> <li>・平成29年3月1日（月） 緑ヶ丘小学校5年生 121名 1～3時間目 場所：桃山学院大学グラウンド</li> </ul>	児童が大学生とふれあう中で、スポーツを通しての体力向上と異年齢の交流を深めることができた。
18	博物館学芸員課程 博物館実習	生涯学習部 文化財振興課	経営学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●桃山学院大学博物館学芸員課程の博物館見学の受け入れを行った。（4月）</li> <li>●桃山学院大学博物館学芸員課程の授業に職員が出講した。（9月）</li> </ul>	大学と歴史館との連携に寄与。
19	桃山祭 地域連携ブース出展	生涯学習部 文化財振興課	学長室 学院史料室	<ul style="list-style-type: none"> <li>●桃山祭に、和泉市、泉大津市および桃山学院大学（学院史料室）協働で、地域連携事業を紹介するブース「地域とつながろう桃山学院大学～泉大津市・和泉市とともに～」を出展した。</li> <li>2016年は、池上曾根遺跡指定40周年をむかえることから、史跡指定40周年記念事業のとりくみを中心に紹介し、3日間で約700人の入場があった。</li> </ul>	大学との連携強化や池上曾根遺跡のPRにつながった。
20	広報への協力	生涯学習部 久保惣記念美術館	学長室	<ul style="list-style-type: none"> <li>●美術館のイベントチラシ等を大学内に配架した。</li> </ul>	大学と美術館の連携に寄与した。

桃山学院大学と和泉市の連携事業一覧表（平成28年度）

（平成29年3月末日現在）

No	事業名	和泉市担当	桃山学院大学担当	連携事業の結果	事業効果・成果
21	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業	生涯学習部 久保惣記念美術館	経営学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成28年4月23日 学芸員過程学生の見学研修の受け入れを行った。</li> <li>●平成28年6月22日 インテグレーション科目「図書館・博物館への誘い」の講義を行った。</li> </ul>	学芸員資格取得を目指す学生が直接美術館や現職の学芸員に接する機会を提供できた。また、近隣にありながら学生にとって関心の薄かった美術館に関心をもってもらう機会となった。
22	放課後子ども教室推進事業 放課後子ども教室(げんきっ子プラザ) 留守家庭児童会(なかよしクラブ)	生涯学習部 生涯学習課	教育支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●留守家庭児童会運営事業において、教育委員会教育センターが所管する桃山学院大学「学外研修（地域連携教育活動）」の制度を利用し、平成28年度においては、3名の学生に3校の留守家庭児童会（国府・北松尾・青葉はつが野）の活動補助に加わってもらった。</li> </ul>	留守家庭児童会に在籍する児童（小学1年生～6年生）について、大学生と普段できない活発な遊び等を行うことによって掛け替えのない時間を過ごすことができた。
23	和泉市民大学に関すること 【生涯学習推進計画進行管理事業】	生涯学習部 生涯学習課	学長室	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いずみ市民大学（まちづくり学部・教養学部）における桃山学院大学との連携講義の調整および実施を依頼した。今年度は9名の先生方の協力のもと、まちづくり学部では計10回の講義やフィールドワーク、教養学部では、6講座、計52回の講義において、市民学生を受け入れていただいた。</li> </ul>	まちづくり学部においては、講義とフィールドワークにおいて、講座の趣旨に基づいた専門的な講義をしていただいた。また、教養学部においては、市民の興味に基づいた講義をしていただいた。
24	和泉シティプラザにおける桃山学院大学インターンシップ実習生の受け入れ 【生涯学習センター管理運営事業】	生涯学習部 生涯学習課	キャリアセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習連携事業の一環で実施しているインターンシップ制度。 ・受入先は、生涯学習センター・図書館・保健福祉センター・男女共同参画センター・和泉市役所出張所のいずれか（平成15年度より実施）。 ・平成28年度は生涯学習センター、図書館でそれぞれ1名ずつの受け入れを行った。</li> </ul>	学生の社会貢献や参画の一助となっている。
25	ふれあいニュースポーツ教室	生涯学習部 スポーツ振興課	学生支援課 スポーツオフィス	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ニュースポーツを3種目程度取り入れて月に一度桃山学院大学サブアリーナを借用し教室を実施した。 ニュースポーツ種目：4/23 ピロポロ 5/21 クロリティ 6/18 ラダーゲッター 7/24 公式わなげ 8/20 ディスカスポード 9/17 ディスコン 10/22 ラダーゲッター 11/20 ピロポロ 12/17 ソフトラクロス 1/21 ペタンク 2/18 キンボール 3/18 ニュースポーツ</li> </ul>	ニュースポーツを市民に普及・振興させることができた。
26	信太山クロスカントリー大会IN大阪和泉	生涯学習部 スポーツ振興課	学生支援課 ボランティア活動支援室	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全国各地の参加者（前回大会の出場者含む）に対し、大学の広報活動として大会要項、ポスター、冊子に大学名、広告を掲載し、大阪府下を中心に全国各地のスポーツ施設に設置、掲示を行った。また、第64回目を迎える信太山クロスカントリー大会 IN 大阪和泉の大会受付等に一般ボランティア、走行中のランナーの安全を確保するべく陸上競技部のランナーボランティアを学生支援課ボランティア活動支援室を通じて協力いただいた。</li> </ul>	大会運営を円滑に進行させることができ、参加ランナーの安全を確保できた。
27	キッズスポーツフェスティバル	生涯学習部 スポーツ振興課	学生支援課 ボランティア活動支援室	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キッズスポーツフェスティバル等のイベントに大学生ボランティアとして参加した。</li> </ul>	イベント運営円滑に進行させることができ、片付けもスムーズに行えた。
28	地域の魅力・顔づくりプロジェクト <和泉中央>	環境産業部 商工労働室 商工推進担当	学長室	<ul style="list-style-type: none"> <li>●下記事業を実施した。 ・平成28年6月28日 夏の斉美化活動、花の植替え作業 ・平成28年10月21日 桃山学院大学との連携による「おえかきまつり」開催 ・平成28年12月2日 秋の斉美化活動、花の植替え作業 ・平成29年2月～3月20日 イルミネーション点灯</li> </ul>	鉄道・バス事業者、商店街、学校など地域の多様な関係者と行政が協働して、魅力ある和泉中央駅周辺の空間を創造し、まちの活性化を図ることができた。
29	学習支援ボランティア事業	こども部 こども未来室	学長室 学生支援課 ボランティア活動支援室	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ひとり親家庭の子ども（小学生・中学生・高校生）を対象に大学生が学習指導や進路指導を実施した。</li> </ul>	啓発等の周知ができていなかったため、利用者が少なかった（平成28年度から事業スタート）。
30	地域ビジネス実践	環境産業部 商工労働室 商工推進担当	経営学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地場産業であるいずみパール・いずみ硝子を活用し、企画・商品開発・マーケティング分析、仕入れ、販売等についての授業に対し、授業でのアドバイザーとしての参加や大学祭でのブース出店の調整をおこなった。</li> </ul>	学生にとっては、実践的に経営ノウハウを取得することができた。

桃山学院大学と和泉市の連携事業一覧表（平成28年度）

（平成29年3月末日現在）

No	事業名	和泉市担当	桃山学院大学担当	連携事業の結果	事業効果・成果
31	MOMOYAMAエクステンション・カレッジ	環境産業部 商工労働室 商工推進担当	学長室 地域連携室エクステンションセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「和泉の魅力を再発見～伝統あるいずみパール・いずみ硝子から発展し続けるテクノステージ和泉について～」をテーマとした社会人向け講座の調整・実施した。</li> <li>・平成28年10月13日 市長講座「新たなパワー芽生える躍進の和泉市」</li> <li>・平成28年10月20日 いずみパールでアクセサリーを作ろう（日本人造真珠硝子細貨工業組合）</li> <li>・平成28年10月27日 伝統の技を習ってみませんか？（佐竹ガラス株式会社）</li> <li>・平成28年11月10日 テクノステージ和泉の企業を見学しよう（大阪いずみ市民生活協同組合）</li> </ul>	延べ参加人数 73名
32	和泉ゼミ設立検討事業	市長公室 いずみアピール課	社会学部	●平成28年度は市制施行60周年記念事業等の関係もあり、日程調整がつかず未実施となった。	今年度連携なし
33	和泉市人権協会への協力	総務部 人権・男女参画室 人権国際担当	社会学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「多言語で知ろう！和泉市の見どころ」をテーマとして、英語と中国語で市内の観光スポットを紹介する研修を実施した。</li> <li>【和泉市・和泉市国際交流協会共催】</li> </ul>	市内在住の外国人講師から見た和泉市の見どころについて伺い、英語で紹介するスキルを身に付けることができた。外国人市民や訪日旅行者との国際交流への関心が高まった。
34	文化財モニターツアー	生涯学習部 文化財振興課	国際センター	●桃山学院大学の留学生を対象とした文化財モニターツアーについては、平成28年度の実施は見送った。	モニターツアーは実施しなかったが、和泉市の歴史と文化財を紹介した冊子『和泉市の歴史と文化財』の英語版・中国語版を、国際センターに配架していただき、留学生へのPRを行った。
35	音☆楽市inまなびのプラザ	生涯学習部 文化財振興課	学生支援課	●音☆楽市開催にあたり、フォークソング部の出演については、全体のプログラムの関係上、依頼を見送った。	今年度連携なし
36	いずみ歴史トーク	生涯学習部 文化財振興課	経済学部	●地域に出かける講演会として、父鬼町において、いずみ歴史トークの開催を企画したが、地元町会との調整がつかず、H28年度の開催は見送った。	今年度連携なし
37	実習生の受け入れ	生涯学習部 青少年センター	社会福祉実習指導室	●5月頃にボランティア支援室に、青少年センターで活動していただけるボランティアを募集し、平成28年度は4名の学生がボランティアとして登録していただいた。ボランティアの学生には、毎週土曜日のふれあいサタデー事業、三季休のユースゼネレーション事業で、工作、調理、スポーツ等のサポートをしていただいた。	大学生ボランティアは、子どもたちのお兄さん、お姉さん的な存在となり、とても活気ある事業となった。
38	課題解決プランコンテスト 商店街サポーター創出・活動支援事業	環境産業部 商工労働室 商工推進担当	社会学部 学長室	●和泉府中駅前商店街（ロードインいずみ）内の空き店舗を活用し、サードプレイス～シェア桃大～として、商店街の活性化や子育て支援などを中心とした多様なプログラムを実施した。（本事業については、市の課題解決プラン実施事業支援補助金を活用し、実施）	子育て世帯の親子や商店街を知らない方が訪れるきっかけにつながり、商店街の賑わい創出につながった。
39	市民井戸端会議への参加	市長公室 公民協働推進室	学生支援課 ボランティア活動支援室	●平成28年度からは名称を「市民ラウンドテーブル」に変更し、気軽に集まって、気軽におしゃべりする「おしゃべりカフェ」を実施したが、自由に参加してもらう方法へ変更したため、連携事業としては実施しなかった。	今年度連携なし
40	ミュージアムタウン構想	市長公室 いずみアピール課 政策企画室	学長室 社会学リーダー 育成プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>●和泉・久保惣ミュージアムタウン構想（平成29年2月策定）の策定向けのワークショップに学生が参加し、意見交換を行なった。</li> <li>●平成29年3月12日開催の「和泉・久保惣アート祭」には桃山学院大学の学生によるチアダンスよさこい踊りのステージがあった。</li> </ul>	<p>ワークショップでは、学生からの若い意見を取り入れることができた。</p> <p>ステージにも多くの集客があり、賑わいのある祭りとなった。</p>